

(1) JRDR発表論文数 (図表1)

日本透析医学会の統計調査は、過去50年以上にわたり現況報告として、わが国の透析療法の文字通り現況を明らかにしてきました。さらに、断面調査だけではなく、わが国の透析療法の経年的な変化も明らかにしてきた、世界にも例を見ない規模・歴史をもった調査です。これも、ひとえに全国の透析施設や、透析従事者の方々のご尽力の賜物であり、この場を借りて深く感謝申し上げます。

こうした年末調査により収集された貴重なデータを、透析医療に還元すべく、統計調査委員会では、2008年度から公募研究・委員会研究として、年末調査データをもとにした解析を積極的に進めてきました。これらの研究は、透析患者の予後・QOLなどさまざまなアウトカムと関連する要因・治療様式を明らかにしてきました。日本透析医学会が作成した診療ガイドラインの作成根拠として使用されたものもあります。

JRDR (JSDT Renal Data Registry) ハイライトとして、現在までにJRDRデータベースを基にした解析によって明らかにされた英語論文についてご紹介いたします。

2016年末現在、JRDRデータを用いた英語論文は表に示すように45報が報告されています。今年はこの中から9報を選択し、その概要、要因やアウトカム、代表的な図・表、さらにはその解析が行われるに至った背景や、論文の意義について、実際にその論文に携わった解析小委員が中心となって、ご紹介いたします。

本企画が、統計調査にご協力をいただいた会員の方々にとって、わが国の透析患者から得られた英語論文を理解する上で、有用なものになれば幸いです。

公表年	論文数	収載誌	論文数
2007年以前	4	Ther Apher Dial	14
2008年	2	Nephrol Dial Transplant	9
2009年	2	PLoS One	5
2010年	1	Am J Kidney Dis	3
2011年	2	Clin Exp Nephrol	2
2012年	5	Kidney Int	2
2013年	4	Kidney Int Suppl	2
2014年	7	Am J Nephrol	1
2015年	12	Blood Purif	1
2016年	6	Clin J Am Soc Nephrol	1
計	45	Hemodial Int	1
		J Bone Miner Metab	1
		J Ren Nutr	1
		Nephron Clin Pract	1
		Ren Replace Ther	1

主な対象領域	論文数
CKD-MBD	8
透析導入	8
循環系・血圧管理	4
栄養・炎症	4
透析液水質管理	3
電解質・酸塩基平衡	3
透析管理	3
貧血	3
手根管症候群・アミロイドーシス	3
総説・その他	6

いずれも各年末の現況報告は含まず

解説

2008年から公募研究を開始し、変動はあるものの徐々に公表論文数が増加している。特に、2014年度からは公募研究および委員会研究の結果が相次いで報告されている。

収載誌については、Therapeutic Apheresis and Dialysis誌をはじめとして、2016年には日本透析医学会の新規英文誌であるRenal Replacement Therapy誌にも、JRDRからの論文が掲載された。

その他、Kidney International誌、American Journal of Kidney Disease誌、Nephrology Dialysis Transplantation誌といった、腎臓・透析領域における国際的評価の高い雑誌にも、複数の報告が掲載されている。対象領域については、CKD-MBD、透析導入に関する報告が最も多く、その他、透析管理、透析患者特有の合併症など、さまざまな分野にわたって検討が行われている。

このように幅広い分野において統計調査の結果が公表され、診療ガイドライン等を通じて、実際の透析医療に還元されている。